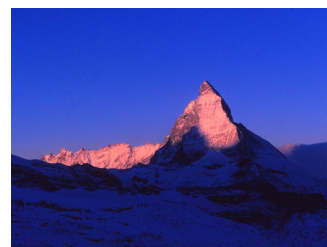
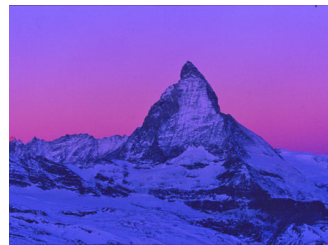
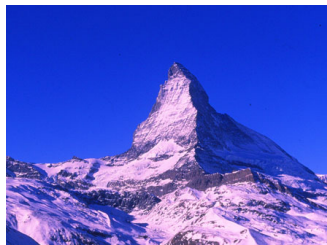


3395 夢絵作家・世界の旅：地球のかおり 0007

スイス・マッターホルン、大好きな山。

日本の富士山、107ヶ所の撮影ポイントが存在するという。
マッターホルン、何度も出向いて、スイス側だけでなく、イタリア側からも
夜明け、昼夜、撮影ポイントにチャレンジした時期がある。



富士山を撮影するのに、富士山に登っているのは、全体像は撮れない。
自分でポイントを捜す楽しみ。危険も伴う。何しろ一人旅。腰まで雪に埋れて…
寒さも半端でない時期もある。夏場は雲が邪魔をする。
味方につけられればいいのだが… 体感は一生涯忘れないものようだ。

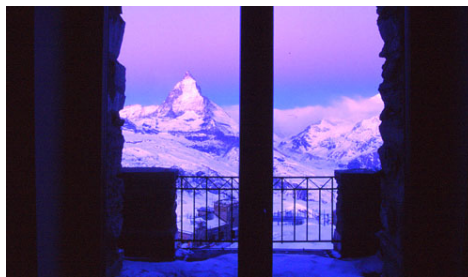
トレッキングや登山、スイス側、ツェルマツトからのアクセス。
公的な交通手段でないと、車でのアクセスは出来ない。自然を大切にとの方針。
スイス連邦の誇りでもあり、哲学なのだろうと思う。

イタリア側からのアクセスは当時、車での移動、アオスタ経由でアプローチ。

マッターホルンとは呼ばず、チェルビーノが呼称。

スイス側のゴルナグラード、数年前から景観の一番いい部屋をと
お金を貯めて、背伸びして、連泊したことがある。今、素敵な思い出は、心の財産。

フィルム撮影、夢冒険にのめり込む、人生の転機になった。



地球のかおりのテーマは「LOVE」

愛の反対語は無関心 自然に愛を

～～山はみどり 野に花 人にはこころ～

自然の恩恵を受けて生きている人間は、言わば、地球の間借人。

自然に対して克服でなく共生の姿勢を保ち、
謙虚であるべき。祖先がいて現在がある。次の世代に受け渡すものは
何でしょう。自然や空気は親と同様、失って初めて
気づくものです。再生はできない。